

## 平成 28 年度 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所及び

## 関西熱化学(株)加古川工場環境保全協議会議事録

1. 開催日時：平成 28 年 7 月 15 日（金） 9：30～11:40

2. 開催場所：(株)神戸製鋼所加古川製鉄所 小ホール

### 3. 会議内容

#### 【開会】

(会長のあいさつ)

#### (1) 委員の紹介

(委員紹介)

(事務局紹介)

(事務局より協議会成立の報告)

#### (2) 議題

議案 1 平成 27 年度環境保全協議会収支決算について

－ 承認 －

議案 2 平成 28 年度環境保全協議会収支予算案について

－ 承認 －

議案 3 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所及び関西熱化学株式会社加古川工場環境保全協議会の組織及び運営に関する要綱の一部を改正する要綱案について

－ 承認 －

#### (3) 報告事項

##### ①平成 27 年度立入調査結果について

(兵庫県報告)

- ・平成 27 年度は計 37 回の立入調査を実施した。
- ・アスベスト除去作業に伴う立入調査では、作業状況を確認するとともに、測定を実施した。また、降下ばいじん関係で 6 回、焼却炉関係で 1 回の立入調査を実施した。

(加古川市報告)

- ・水質関係 24 回、大気関係 23 回、騒音関係 2 回、その他 5 回、計 54 回の立入調査を実施した。

- ・水質関係の立入調査では、排水口での水質調査、排水差温調査、汚濁負荷量調査、pH計の精度確認等を行った。
- ・大気関係の立入調査では、堆積場等の粉じん発生施設の現地調査を行った。また、神戸製鋼所が設定した降下ばいじん自主管理目標値の未達に伴い、原因及び対策状況の確認を行った。
- ・騒音関係では、工場周辺で測定を行い、基準値を超過することは無かった。
- ・その他の立入調査として、火災等事故発生に伴う周辺環境調査を行った。
- ・市立入調査において、法令及び協定で定められた値を超過するなどの事例は無かった（詳細は平成27年度立入調査結果を参照）。
- ・降下ばいじん総量（神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3地点における降下ばいじん総量の年平均値）については、平成27年度は4.3トン/平方キロメートル/月であり、平成26年度から微増となった。
- ・降下ばいじん総量の抑制につながる発生源の調査及び対策について、市は、県と連携しながら指導を継続する。特に、降下ばいじん総量が平成24年度から増加傾向にある点について注視していく。

－ 質疑応答 －

<降下ばいじんの総量が増加していることについて>

(委員)

降下ばいじん総量の増加には「排出量の変化」と「気象条件の変化」が考えられるが、神鋼としてはどのように考えておられるのか。

(神鋼)

降下ばいじん総量には、製鉄所から飛散していると考えられるものと、それ以外のものが含まれている。事業者としては、あくまでも製鉄所影響値を指標に製鉄所からの影響を評価したいと考えており、平成27年度については、製鉄所影響値は概ね3t/km<sup>2</sup>/月以下で推移している。

(委員)

発生量を定量的に把握したうえで管理すべきではないか。シミュレーションは検討していないのか

(神鋼)

シミュレーションの活用は有効であると考えている。ただし、現時点では現場での対策（パトロール、散水等）に重点を置きたいと考えている。シミュレーションの実施については今後、行政と相談しながら検討していきたい。

(委員)

シミュレーションと併せて、不溶解性総量の経年変化を調べることも有効であると考えてるので検討していただきたい。

<アスベストの除去工事に関する立入調査について>

(委員)

立入時にアスベストの濃度測定は実施しているのか。その結果はいかがか。

(兵庫県)

平成 27 年は 16 回測定を行い、問題のある測定結果は無かった。

(委員)

測定結果の公表はしているのか。

(兵庫県)

立入件数は公表しているが、工事現場における測定結果は公表していない。

(委員)

測定結果をぜひとも公表してほしい。

## ②協定書の実施状況について（神鋼）

- ・法令及び協定値で定められた基準は順守した。
- ・製鉄所周辺地域（浜の宮、別府、播磨）における降下ばいじん総量については、横ばいで推移している。
- ・4月に神鋼ビルでの自主管理目標値が未達となった。当時の施設の維持管理状況等に問題は無く、未達の原因は4月初旬に発生した強風によるものだと考えている。事業者としては、散水を強化するなど、降下ばいじん対策を徹底していく。

## ③環境対策の進捗状況について（神鋼）

- ・平成 27 年度に環境テレメータに関する覚書を改正した。改正覚書では、計器設置時の事前協議や、計器停止時の報告等について定めた。
- ・覚書の改正により、事業者が設定した 155 件の環境対策が全て完了した。

## (4) 工場視察

広報センター ⇒ 防じんネット ⇒ ペレット工場南側スプリンクラー  
⇒ 広報センター

－ 質疑応答 －

(委員)

- ・散水量の管理はしているのか。
- ・年間何日程度散水しているのか。夏場は増えるのか。
- ・過去 5 年間の散水状況は変化しているのか。

(神鋼)

散水量は管理している。基本的に毎日散水しており、夏場は 1 時間に 1 回である。散

水は年々強化している。

(委員)

構内で浮遊粉じんの連続測定はしているのか。

(神鋼)

連続測定はしているが、測定の目的は施設の管理状況を把握するためであり、排出量の把握はしていない。

(委員)

測定濃度に風速を乗じると排出量が算出されるので検討していただきたい。

#### (5) その他

事務局より協議会の内容を加古川市のホームページに掲載することについて説明。

【 閉会 】

( 副会長のあいさつ )